

令和3年第12回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和3年12月17日 午後3時30分
- 2 閉会 令和3年12月17日 午後4時24分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 山田正勝
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課教育総務係長 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 令和3年12月17日(金)

午後3時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第4回定例会一般質問について
- (3) 小中学校への寄附について」

4 その他

開 会 午後 3 時30分

教育長

本日は、ご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。
す。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和3年田原市教育委員会第12回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と金田委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。

前回、11月10日の第11回定例会以降のことについて、幾つかをお話しさせていただきますと思います。

11月17日、田原市教育支援委員会が開催されました。

来年度小学校に就学する年長児も含めて、特別な支援を必要とする児童生徒の適切な支援の在り方について、田原市全体で協議がなされるというものでございました。

表敬訪問が、11月17日と12月9日、10日、15日に入っており、田原市の児童生徒、出身の高校生も含めて全国的な活躍をしている子ども達が、今月もたくさん訪問に来てくれました。

11月25日、宮木学校医への叙勲伝達がございました。学校医として、長年にわたって田原市の学校教育のためにご尽力いただきました宮木先生が、このたび叙勲を受けられたということで、本来なら皇居で授与式があるのですが、それができなかったということで、市役所にお越しいただき、お渡ししたというようなことでお祝いの言葉を述べさせていただきます。

宮木先生は、田原中学校の学校医から始まり、その他にも何校かやってみえるのですが、田原中学校については50年以上学校医として診ていただいているということで、本当に田原市にとっても、感謝の言葉しかないというような思いであります。

11月30日、田原市議会の第4回定例会がこの日からスタートして、12月14日に本会議4日目ということで、無事に終了しております。

議会の一般質問等については、後ほどまた報告がございましたので、よろしく願いしたいと思います。

12月4日、市民劇「崑山劇」が上演されました。

教育委員会が後援をしており、崑山没後180年の記念事業として、市民の有志の方が実行委員会を組織して実現したものでございます。

市民劇ではあるのですが、大変質の高い作品となっていて、とても

感動して見させていただきまし、いろいろな方からも非常によい劇だったというような声をたくさん聞きました。

12月9日、田原ロータリークラブから教育についての講話依頼を受けたものですから、田原市の教育が目指しているものや、ふるさと教育ということについて、少しお話しをさせてもらってきました。

12月11日、田原市蒲郡市合同スポーツ推進委員研修会がふるさと教育センターで開催されました。隔年で開催されおり、今回で第6回目ということでした。ニュースポーツを普及するというこ、両市が合同で研修を開いたり、情報交換をしたり、懇親を深めていったりということ、とても楽しい雰囲気、研修会が開かれました。

12月12日、田原市スポーツ少年団の大会が田原総体で開かれました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催されなかったものですから、2年ぶりの開催ということになりましたが、今回は高学年のみの参加ということでした。部活動のことをいろいろ協議する中で、子ども達に参加できるような、学校外のこういった組織も今後ますます大きな意味を持ってくるのかなと、そのようなことも考えながら参加させていただきました。

同日、田原市人権ファンクション主催の講演会が田原文化ホールでありました。落語家の柳家花緑さんの公演だったわけですが、ご自身が発達障害の一つ識字障害であることを公表されてお話しをされました。さすが名人の落語家なものですから、本当に話術に引き込まれて、2時間があつという間に過ぎました。とても楽しい時間だったのですが、内容は決して軽くなくて、発達障害のことを深く考えさせられるような会であったと思います。

それから、障がいのことだけではなくて、花緑さん自身の生き方というふうなものも語っていただいた中で、聞いている私達にも自分の生き方であったり、人生であったり、そのようなことを見つめ直すような、楽しい中にも大変深い話が聞けたなというように感じております。とてもいい講演会でした。

12月15日、田原市青少年問題協議会が開催されました。様々な情報交換、協議がなされる中、特に印象に残ったのが、不登校が中学校ぐらいから多くなって、高校でも不登校のことが最近問題になっていると。特に高校だと、その後引きこもりにつながってってしまうということで、以前からではあるのですが、非常に重い問題だなということ、を改めて感じました。

そんな中で、子ども若者相談員の先生から、引きこもりの若者の相談活動を続けている中で、働く場をその子に与えて、少しでも社会に出るような機会をもっていくようにということで、働きかけをしたところ、いろいろな事業者の方が働く場を提供してくださって、何とか

立ち直りつつあるという若者の例の紹介がありました。少しずつ社会に出て、慣れていけるような、そんな場をいろいろなところで提供できることが、とても大事であるということを、相談員から報告を受けて、本当にそのとおりだなと強く思った次第であります。

同日に、今回、赤羽根中学校のPTAが文部科学大臣表彰を受賞したということで、表敬訪問という形で報告に来ていただきました。受賞した理由は、今年4月の泉中学校との統合に向けて、統合がスムーズに行われるように、組織体制を整える等、様々な準備や取組をすることで、今年の良いスタートにつながったという、その辺りのことが評価されたということでもあります。

本日12月17日、田原市の消防職員意見発表会が午前中に行われました。非常にいい発表会であったなと感じております。書面審査を通った8名の職員の方が発表されたのですが、日頃の業務やそれぞれの方の過去の経験から、消防職員の活動や業務をよりよくしていくための提言というようなものをそれぞれ考えて、立派に発表されておりました。とても緊張した雰囲気の中で、若手の職員の方が力強く自分の意見を発表してみえるということで、とてもいい研修の機会だなと思って感心いたしました。ずっと前から続いている会で、優秀な方が本日二人選ばれて、その方たちが東三大会、県大会、全国大会までつながっていくということだそうです。それぞれの職員が自分自身を磨いていくような大きな機会になっているなど、そのようなことを感じた次第でございます。

私からの報告は以上とさせていただきます。

何か、今のことにつきまして、ご質問がありましたらお願いします。特に質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いしたいと思います。

高崎委員

まず、高崎委員からお願いします。

私は、12月4日に華山劇、それから12日、人権ファンクション講演会に参加させていただきました。

華山劇に関しましては、先ほど教育長もおっしゃいましたが、素晴らしい会で、出演されていらっしゃる方も一所懸命という熱意をとても感じることができました。華山先生に対する皆さんの関心の高さを改めて実感いたしました。

次に12日、人権ファンクションの柳家花緑さんの講演会について申し上げます。

一言で申し上げて、すばらしい講演会でした。さすがプロの話とい

うこともございましたけれども、発達障害ということだけではなく、先ほど教育長さんがおっしゃったように、生き方という部分にも触れられていらっしゃるようで、発達障害の方、また今グレーと言われていらっしゃる方が生きやすい世の中になっていくといいなということをおもいました。

自分の子育てについての反省、それから私たち自身も、頑張れ、頑張れというような言葉を聞いて育ってきたように思います。花緑さんの話の中で、頑張るということは、我を張るということなんだ。よくオリンピック選手が未来に向けて、金メダルを取りましょう、何連覇をしましょうなど、未来に今ないものに対して向かっていくということをおもったということなんだというようなことをおっしゃっていました。頑張るの反対語というのは、感謝だそうです。感謝というのは、今ここにあることに対してありがたいと思うこと、それが頑張るということの反対語ということをおっしゃってくださいました。

あと、京セラの会長の稲森さんの利他の心について、花緑さんはやはり大勢の方に理解できるように、説明をしてくださいました。例えば生物学のいろいろな先生の話をお聞きして、今、細胞があるとしたら隣の細胞のためにこの細胞はあるんだよ、その細胞はまた隣の細胞のためにあるんだよ、そんなところから利他の心を解いてくださって、とても幅広い方に理解いただけるようなすばらしい話術をお持ちですし、とても勉強を熱心にされていらっしゃると思いました。

また、日清製粉の安藤百福さんの話もお聞きして、カップヌードルをつくったときに、カップヌードルの特許を取らなかったものだから、よその会社に開発が行き、そして今の日清製粉がある。だから、自分だけというのではなく、みんなも一緒にという並走していくということが大事だなということをお聞きして感動させていただきました。

最後にご挨拶の終わった後おっしゃっていたのが、よく、花緑さんだからそれができるんだよということをお聞かれるそうです。でも、それは花緑さんだからできることではなく、みんなもできるんですよ。特に発達障害の子というのは、優れた部分を持っていたりするので、それをたくさんの方の好奇心で見つけてあげることが大事なんだということをお聞きしていただきました。なかなかその方法が分からないから、自己肯定感が持てないんだという、私のもやもやとした疑問を最後にスッキリさせていただくようなとてもすばらしい終わりでした。

以上です。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員をお願いします。

12月16日、田原市の子ども子育て会議に参加させていただきました。事務局からは、子ども子育て支援事業の進捗状況、元福祉専門学校のところに民間の児童クラブが開設されるということ、あと令和4年

教育長

金田委員

4月にオープンする赤羽根こども園の準備状況、そういった説明がございました。

委員さんの意見の中で、その委員さんは10年ぐらい前から参加されているのですけれども、10年前の資料を見ると、今現在の子どもの見込み数が大幅に減っているということで、そういったことで修正をしておいてほしいというご意見がありました。

また、コミュニティスクールの活動を通じて、蒲郡市の西浦地区では放課後子ども教室が地域の活動になったということを言っていましたので、そういったことも参考にしてほしいということをおっしゃっている委員もいらっしゃいました。

また、子ども食堂の運営を子育て支援課ではなくて、地域のほうでやりたいと手が挙がっているというそんな報告も上がっております。

また、子育て世帯への10万円以下の給付ということで、18歳以下の方が9,080人いると言っていました。ただ、その内支給対象の人が約6,800人ではないかということで、子育て支援課のほうとしても、12月24日までには何とか振り込みたいとおっしゃっていました。

自分が参加したのはそれだけですけれど、いろいろな外からの声をきいたり、6年生の保護者の数名の方とお会いしたときに、修学旅行に行けてよかったと、そんなふうに言っていました。行くのが当たり前ではなくて、コロナでなければ、こんなふうな言葉というのは絶対出なかったんだろうなと思って話をさせていただきました。

また、毎年トライアスロンに参加している豊橋の方に会ったんですけれども、来年はぜひとも開催してほしいと強く願っておりました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、太田委員お願いします。

私も12月12日の人権ファンクションの講演会のほうへ出かけました。先ほど教育長や高崎委員から大変いい会だったという、私も全く同感でいい講演会だなということを感じました。

いろいろ自分の中で考えることもできるような機会にしてくれたなというように思いました。一番私を感じ、考えたことは、柳家花緑さんという人間が、どういうモチベーションで今のような落語家になってきたのかなというところでした。大谷翔平選手であったり、いろいろ有名な方がいて、いろいろ能力というのは持っていると思うのですけれども、その能力の中にモチベーションとなるものが何かないところをいつも考えるわけです。花緑さんのお話の中で、祖父の5代目の柳家小さん、人間国宝の方の存在というのがとても大きいのではないかなというように思いました。落語という芸に追及していただくだけではなくて、芸は人なりという、人間に返ってくるというところが何をやっても大事ではないかなというように、大谷選手でもやはり人間

教育長

太田委員

性があるからあれだけ皆さん方に注目され、好かれてくるのではないかなということで、花緑さんはおじいさんの生き様を間近に見て、そこを目標にしてみえ、発達障害という障害とも向き合いながら、自分なりの人生を生きてみえるんだなということを感じました。

ただ、正しいこと、当たり前のことを話すのではなくて、その中に落語家特有のユーモアがあるので、人を引き込む力があるのではないかなと感じました。ただ相手や周りの方に説得力を持っていくためには、その中にユーモアとか明るさとか、話す内容にもよるのですが、そういうものがあるので、あれだけ2時間という時間が、とても聴衆に満足感を与えるような、そういう講演会になるんじゃないのかなということを感じました。人生死ぬまで勉強ですので、私達もまた勉強させていただいて、何か自分が目標を持って生きていくというそういうことが、すごくすばらしい方だなということを変更して感じることができました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に天野委員、お願いします。

私は、教育委員としての活動はなかったのですが、水曜日に福江中学校と福江高校の中高一貫教育成果発表会とコミュニティスクールの発表会が渥美文化ホールで開催されまして、出席をしてみいました。

中高一貫の成果発表としては、行事交流ですとか、部活動交流をされている、とても楽しそうな写真を見せていただきながら中学生と高校生が交互に発表してくださいました。部活動交流とかは、中学生の感想としては、高校生から声をかけてもらってうれしかったということがありました。また高校生側からは、たくさん的人数で楽しいということと、あと教えることの難しさを知りましたとか、よい刺激を受けましたなどの感想が発表されていच्छやいました。

最後に、先生からは、中高生という成長が著しい時期に、中学に行けば3年間、高校に行っても3年間、それ以外の異年齢の違う年齢の交流というのは、とても貴重な体験になるでしょうというお話がありました。たしかにこういう中高一貫ということがなければ、なかなか身近に接することのない、お兄さん、お姉さんや、後輩との交流ができないなと思いました。

あと、コミュニティスクールについては、福江高校も福江中学に次いで、県内初めてのコミュニティスクールをスタートさせたということで、中学校にならっていच्छやって、いろいろ活動もいろいろな科でそれぞれ行っていच्छやるそうです。

生徒さんたちの生の声というのを聞いて、私にとってもとても勉強になりました。

以上です。

教育長

天野委員

教育長

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）田原市議会第４回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

資料は、第４回定例会提出議案等というものが２枚、その後一般質問の一覧表が１枚ついてございます。

今回、直接議案はございませんが、補正予算のほうで関係がございました。前回の教育委員会に出させていただきましたが、生涯学習課から市民館修繕、教育総務課から南部小学校排水関係の案件がございました。こちらのほうは質問もなく、可決ということで認めていただきましたので、ご報告させていただきます。

一般質問についても、今回は直接な質問はございませんでした。その中で、一般質問の一覧表を見ていただきまして、教育委員会のほうにも関連のある案件がございましたので、そちらを報告させていただきます。

２番の辻議員からの、多様性を認め合う社会の実現に向けた取組ということで、今後、教育委員会が様々な仕事を進めていくに当たって、いろいろな配慮が必要だということを感じました。SDGsというものもございまして、ジェンダーの話ですとか、今後市全体で取り組むというところで、施設等にも影響が出てくるのかなというようなことを感じました。

続きまして、３番の村上議員の中の公共施設適正化の推進ということで、教育委員会は様々な施設を持ってございます。その中で、直接教育委員会の施設に対して云々ということではなくて、市全体の考え方についてということでございます。このことについて、公共施設の適正化を進める上では、将来コストなど財政的な視点だけではなく、他の公共施設との複合化による機能維持など、行政サービスの最適化の視点を持ち、また、まちづくりにおける視点も踏まえることとしており、これらの視点に基づいて進めていくということを企画部長のほうで答弁をしております。また、２回目の答弁のほうでは、複合化のパターンや民間整備手法などについて総合的な調整を行いということがございますので、これまでの考え方ではなく、一つの施設を守っていくという考え方だけではないということを表明したということでご承知おきいただければと思います。

次に、６番の内藤議員から、本市におけるデジタル推進についてということで質問がありました。こちらは、市民の方に市のデジタルの推進について知ってもらおうということで、あえて質問したというようなことも聞いております。田原市においてもデジタルの推進というのは大きな課題としてやっていくわけですが、まだまだ方向性が出ていないということで、具体的にどのように進んでいくかというのは、今後の話になりますが、既に例えば申請書類の押印がなくなったとい

うこともございます。そういったものを皮切りに申請のいわゆるデジタル化等が、今後進んで市民の利用ですとか、そういうものの配備などを今後していくということになります。

議会については、以上でございます。

教育長 ただいま事務局の説明がありました。田原市議会第4回定例会一般質問について、ご質問等ございますでしょうか。

金田委員 議会質問ではないですけども、広報たはらを読んだら、公共施設の適正化の推進ということと、プール施設の在り方の検討ということで載っていたのですけれども、ああいったことが載ったことによって、市民からの声とか電話とかあるのでしょうか。

教育部長 特に公共施設のほうとしてはありませんでしたが、プールのほうはどうですか。

教育総務課長 特にはないです。市全体の公共施設の適正化について、進めていきますよという内容の中にプールの集約化ということで載っていて、たまたま掲載の写真が学校のプールでしたので、教育部門がクローズアップされるという結果になってしまったんですけど、決して教育部門だけではなくて、市全体の施設であったり、あるいは行革では働き方とか、いろいろなことを決めて効率化していこうということですので。

金田委員 ありがとうございます。

教育長 そのほか、いかがでしょうか。

教育総務課長 では、特にほかにご質問もないようですので、次に報告事項（3）小中学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長 寄附一覧の表をお願いしたいと思います。

教育総務課長 今回は6番目、7番目の件でございます。

教育総務課長 まず6番目、10月26日に三河ミクロン株式会社様から草花の培養土をいただいております。バラで18立方メートル、袋で1,100袋いただきまして、これにつきましては、毎年いただいております、学校等に有効に活用していただけるように配付をしております。

教育総務課長 続いて7番目につきましては、11月25日に田原体操クラブ様から卓球のラケット22個、バドミントンのシャトル24個を、田原中学校へ寄附ということでございます。

教育長 以上、2件の寄附がございましたので、ご報告させていただきます。

教育長 ただいま事務局からの説明がありました。小中学校への寄附について、ご質問等ございますでしょうか。

教育長 それではご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長 その他、事務局から何かございますか。

教育総務課長 最初に、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

教育総務課長 第1回定例会を、1月21日金曜日、午後1時30分からこの会場で行いたいと思いますので、ご予約をお願いしたいと思います。

教育長

そのほか、何かありましたら、資料が出ているものについてはいいですか。

生涯学習課長

生涯学習課です、お願いします。

青少年非行被害防止に取り組む冬の運動のチラシをご覧ください。

活動内容でございますございますけど、懸垂幕を庁舎へ掲示、そして啓発チラシを各市民館へ12月15日の回覧配付時に配付してございます。そして、社会教育施設の文化会館、図書館、教育委員会フロアのパンフレットスタンド等へ配布します。

こちらは毎年、県下一斉に、夏休みには夏の運動ということで7月1日から8月31日まで、今回は、冬休みの期間に合わせて12月20から1月10日まで実施するものでございます。スローガンは、「非行の芽はやめにつもう みな我が子」になっております。相談の窓口は、田原市子ども・若者総合相談窓口、そして田原市教育サポートセンターをはじめとして、以下の相談窓口で相談に対応してまいります。こちらでは、昔のような暴力の非行だとか、そういったものは少なくなっていますが、スマートフォンだとかデジタルを使った犯罪等に巻き込まれるおそれがあるということで、下にございますとおり、デジタルについての注意喚起、また、もう一つは、先ほどありました引きこもりについても、携帯電話に依存してしまって、それが原因で昼夜逆転してしまい学校に行かなくなったりということがあるということで、少しこういったことを地域を上げて撲滅していきたいということで、今回このように取り組む運動でございます。

以上でございます。

教育長

何か今の件についてご質問はありますか。

生涯学習課長

先ほど、金田委員さんからの報告にありました、民営児童クラブにつきましては、田原市福祉専門学校の跡地、グローバル専門学校が福寿園さんに移管されて、その2階の大会議室で民営の児童クラブがこの4月から開設される予定です。

1月21日に各小学校の児童クラブ、子ども教室の募集と同時に、対象の小学校、中部、神戸、衣笠、童浦にそれぞれ募集要項を配布しますので、ご承知おきくださればと思います。

教育長

図書館からお願いします。

図書館長

図書館のたはらとLeafというのを配らせていただいております。12月から年明け1月にかけての図書館の様々な行事が載っています。

今、成章高校の生活文化科の生徒さんが作成したドレスを中央図書館で展示をしまして、今年も力作ぞろいのドレスが展示されておりますので、もしよければご覧いただければと思います。

よろしく申し上げます。

文化財課

文化財課です。崋山会報を教育委員さんに配付をさせていただきましたので、よろしく願いいたします。

スポーツ課長

スポーツ課です。11月13日に予定しておりましたスポーツギネス大会というのが新型コロナウイルス感染症の影響により、1月22日に延期して総合体育館で行いますので、ご案内をさせていただきます。

教育長

委員さんのほうから、そのほか。

太田委員

お願いします。今度の総合教育会議の議題がこのようにありますけれども、当日そこで詳しい資料について配付され、その場で特に発言するというので、特に事前に用意しておくことはなくていいですか。

教育総務課長

事前にお配りするよういたします。

金田委員

この教育委員会の定例会の2週間前に議案をメールでいただいて、かつ紙でも配付していただいているのですが、自分の場合はデジタル化を進めていってもいいのかなと思っています。デジタル化と業務の効率化というのができればいいのかなというように感じているのですが、そのへんまたご検討していただけたらと思います。

教育総務課長

現在は、デジタルと紙の両方で配布させていただいております。過渡期ですので、今年度うまく届かないというのがあるものですから、ちょっと二重で落ちのないようにやらせていただいて、できれば来年度からは、事前にデジタルで会議開催と議案の内容を配布、あと当日は紙ベースで資料は用意してと。

教育長

書き込めるので、紙の資料は欲しいですね。

教育総務課長

ですので、創意多様な形に最終的にはなれないかなというイメージをしております。

今ちょっと、デジタル送信がなかなかうまく届かないとかありまして、申し訳ありません。

教育長

その他、委員さんからはよろしかったでしょうか。

それでは、本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

閉 会 午後4時24分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員